

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度 第1回佐渡市図書館協議会
開催日時	令和5年5月23日(火) 午前10時～11時30分
場所	佐渡市立中央図書館 2階講座室
議題	(1) 議題 ①令和4年度事業実績 ②令和5年度事業予定 ③その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	佐渡市図書館協議会委員 会 長 渡辺日出子 副会長 関根 良子 委 員 海老名 忠 杉坂 芳文 遠藤 邦子 坂口 可奈子 多田 ゆかり 池田 哲夫 本間 祐一 土屋 雅朗 事務局(社会教育課) 課長 市橋 秀紀 館長 村岡 直 係長 伊藤 優美
会議資料	別紙のとおり
傍聴者の数	2名
備考	

会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
渡邊会長	1 開会 挨拶
事務局	2 議題 (1) 令和4年度図書館事業の実績について (2) 令和5年度予定事業  資料説明
渡邊会長	ありがとうございました。ただ今の事務局の説明について、ご質問ございますか。非常にきめ細かいデータですので、じっくり読みこまないとわからない部分もあるかと思いますが。
村岡館長	本来ですと、事前に郵送いたすものでしたが、今回は作成が遅れ当日配布とさせていただきます。
渡邊会長	これを見ますと、来館者が増えているような気がしますが、図書館で本を借りるだけでなく、多様な使い方をしている人が多いと思います。佐渡市も年々人口が減って、特に子どもの数が減って、私が図書館にいた頃、読書家であった年配の方が来られなくなったり、亡くなれたり、それでもこれだけの人数が来ているのはすごいと感心して見ていました。
伊藤係長	事務局から補足をさせていただきます。来館者のほうが増えているということで、渡邊会長からご意見をいただきました。ありがとうございます。確かに貸出人数や貸出冊数は昨年度に比べて若干減ってはいます。窓口に出ている職員の感覚としては、コロナの時に比べて新聞を読みに来る人、雑誌を読みに来る人が増えてきたのかなという印象です。また、子どもさんの学習室の利用、この講座室の隣の部屋が学習室ですが、学習室の利用もコロナの間に比べたら、少し増えてきたのかなという印象があります。補足は以上です。
多田委員	質問させていただきます。いただいた資料を見る限りですと、図書館利用状況の推移はわかりましたが、内訳というか、年齢層などの変化は把握することはできますか。
伊藤係長	今手持ちで資料はございませんが、例えば子どもが多いのかというようなところの推移がわかるような資料でしょうか
多田委員	もしあると、またアプローチが変えられるかと思います。
伊藤係長	今すぐの用意ができないので、後ほど改めて送付させていただくかたちで

	<p>もよろしいでしょうか。13ページのこのグラフと表ベースに加えて、年齢層の推移がわかるような資料ということですね。後ほどご用意して送らせていただきたいと思います。</p>
多田委員	<p>課題と対策のところ、令和5年度は広報をしっかりと行い図書館利用を促したいと記載がありましたが、広報の現状はどのようなかたちで周知をしているのかと、あと新しくどのようなかたちでやっていくのかお伺いしたいです。</p>
伊藤係長	<p>例えば子ども向けの行事であれば、地元の小学校や保育園にチラシをお配りしたり、あるいはホームページ、図書館の窓口での周知が中心でした。昨年度から少しずつSNSでの発信を取り組みはじめ、LINE、facebook、Twitterが佐渡市の公式アカウントで持っていますが、こちらを使っての周知も少しずつですが取り組んでおります。昨年度の事業の実施の中で、どういった広報ツールでこの行事を知りましたかとアンケートを取らせていただきますが、子どもさんの行事ですと、学校や保育園から持ってきたチラシを見てという意見が一番多く、少しずつですがSNSで知って、という意見をいただいているところです。なので、従来通りかもしれませんが、子どもさんへの周知につきましてはチラシも重要なツールだと思うのでこちらも使いながら、令和5年度につきましてはもう少しSNSやホームページを強化していくかたちで取り組みたいと考えております。</p>
海老名委員	<p>4年度の実績とは関係ありませんが、3年度の資料の説明をお願いします。</p>
伊藤係長	<p>昨年度、図書館協議会のほうで資料を出させていただきましたが、そちらの数字に誤りがありましたので、資料の差し替えをお願いしたく今回1枚出させていただきました。修正内容としましては、青字で記載されている部分となります。具体的には、令和3年度の貸出冊数が表の中ほどの米印に書いてあるとおり、図書のみ貸出人数というのを個人の貸出人数が記載されるべきところではありますが、昨年度お渡しした資料では、図書だけでなく、雑誌、CDやDVDなどのAV資料なども含まれた数字になっておりました。こちらを今回訂正させていただいた資料については、図書のみ数字をあげさせていただいております。皆様には昨年誤った数字のほうで報告をさせていただいたのですが、令和2年度比に比べ、貸し出しの状況も増という状況につきましては特に大きく変わるものではありませんでしたが、数字が違うというところで、こちらをもって修正に代えさせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。</p>
渡邊会長	<p>それについて、AVと雑誌資料についての貸し出しというのはどこに出きますか。どこかに含んでも全体的な資料、図書館ツールであるのでよいかと思いますが、あえてCDと雑誌を別の数字でいただけるとわかりやすいかと思います。</p>

伊藤係長	参考までに追加で。13ページの平成25年度から令和4年度までの図書館利用状況推移、こちらの貸出冊数については、図書だけでなく雑誌・AV資料を含んだ合計数になります。
渡邊会長	わかりました。また意見などは5年度の予定事業などを聞いてから皆さんのご意見を聞きたいと思いますので、②令和5年度予定事業に入ってもよろしいでしょうか。説明をお願いします。
事務局	資料説明
渡邊会長	ありがとうございました。ただ今の事務局の説明について、令和5年度の図書館予定事業で質問等ございますか。
海老名委員	1番の、図書館移転整備について、これまで説明があったとおりでと思いますが、前回の協議会の時に、まだ構想は固まっていないと、今後関係課と協議を進めていくというお話だったと思います。その後の進捗状況や、今後の見通しについて説明をお願いしたいのが一点。 それから、6番のマイナンバーカードとの連携についてですが、市民の利便性の向上とありますが、具体的にこれを紐付けすると、今とどういうふうに向上するのか、具体的に教えてください。
市橋課長	1番のさわた図書館について私から説明させていただきます。年度末の時に報告しました。今庁内で関係しているのが我々社会教育課、子育ての拠点の中の図書館ということで、子育ての拠点をどう持って行くかというところで子ども若者課、福祉部のほうで調整しておりまして、方向性が出たということで、明日全体会議が始まっていくということで、明日今後のスケジュールも含めて打ち合わせが出てくると聞いております。そのあとでまた方向性が出ましたら皆様に報告したいと思っておりますが、我々としては前回の基本構想の施設の中身に関しては決して悪いものではないと。それこそ新規で造ったわけではないので、100%というのは難しいところではありますが、リフォームの中で荷重の問題もありますが、その中でこのあと市民から頂いた意見をクリアしていくかということも併せて検討していきたいと考えておりますので、情報がわかり次第皆様に報告していきたいと思っております。
村岡館長	2つ目のマイナンバーカードの連携で、どのように市民の利便性が上がるかというご質問ですが、今国のほうでマイナンバーカードと保険証が連携されて、このあとマイナンバーカードを保険証として使うという部分と、このあと運転免許証の連携も国の構想としてはあるかと承知していますが、マイナンバーカード1つでいろいろなサービスを受けられるかたちで、市民はマイナンバーカードだけ持っていればいろいろなサービスを受けられるものが市民の利便性の向上につながると考えております。また、民間のサービスのポイ

	<p>ントについてもマイナンバーカードが受けられる自治体も増えておりますので、佐渡市はまだそういった取り組みまで至っておりませんが、そういった中でマイナンバーカードにいろいろなポイントが付与されたり、連携というところがマイナンバーカードのメリットになるかと思っています。</p>
海老名委員	<p>さわた図書館のほうから。そうすると、さわた図書館のエリアは、社会教育課とすると3階をさわた図書館というイメージでいるのか確認したいです。</p> <p>それから、マイナンバーカードに関しては、機能として紐付けが可能になるということだけでしょうか。今のカードも使えるし、マイナンバーカードに紐付けできるということでしょうか</p>
村岡館長	<p>マイナンバーカードについては、現時点では紐付けができるといったかたちになりますし、このあとマイナンバーカードの連携などいろいろな拡張の計画が総務省のほうでございますので、そういった中でより利便性が高まっていくのかと考えています。</p>
海老名委員	<p>どういふうに利便性が向上するのかよくわかりませんが、気持ちはわかりますが。</p>
渡邊会長	<p>当然まだ両方使えるということですよ。</p>
伊藤係長	<p>はい。</p>
市橋課長	<p>施設の件について、我々は3階についてはああいうかたちでいきたいと思っていますし、2階については、3階も2階も決定ではないので、こういうかたちでどうですかという提案です。いろいろな人からそれが決定だと流れていますが、そうではなく、我々がこういうかたちで使ったらどうですかという提案ですので、その中で意見を聞きながら進めたい。ただ、3階について高校生の学習の場などの確保はしっかりしていきたいというところは変わっておりませんので、そこは我々もどういふうかたちがよいかしっかり提案をしていきたいと思っています。あと、明日会議と言いましたが、このあと会議がもたれるということでした。情報がわかり次第皆様にしっかり報告していきたいと思っておりますし、ただ、我々の基本構想は3階はよいかたちかと思っていますし、2階をこのあとどういふうにしていくか、子育て全体のプランの中で3階も変わるかもしれません。でも、図書館について、我々はああいうかたちで推していきたいというところは変わっておりません。また皆さんの意見を聞きながら進めたいと思っています。</p>
海老名委員	<p>社会教育課とすると、3階はさわた図書館というスタンスで今は考えているということですか。</p>
市橋課長	<p>私たちは、3階は図書館、2階も図書館として考えていきたいと思っていますが、そのあとをどうしていくかというのはこのあとの話し合いで決めさせていただきたい。</p>

海老名委員	社会教育課としてのスタンスは、どのようなスタンスか。
市橋課長	我々は、3階は今のかたちを続けていきたいと思ひますし、2階についても子育てと幼児書みたいなのをしっかりと置いてレファレンスができる体制が必要と考えています。そういうスタンスの中で動いていきたいと思ひています。
渡邊会長	そうすると、これからもそのことについては皆さんと意見を交換し合う余地はあるのですね。
市橋課長	今我々が言っているのは決定ではありませんので、今海老名委員が社会教育課のスタンスを聞きたい、それが決定事項ではないけれど、どうするかということ聞いてくれていると思ひますので、基本的には先ほども言いました3階についてはああいうプランがよいかと思ひていますし、2階については子育てに関係するものが、あとで子ども若者課とどうにかたちで本を置いたりして利便性が高まっていくか、しっかりと考えていきたいと思ひます。
渡邊会長	他にいかがでしょうか。関根委員。
関根副会長	前回の時にもお話させていただきましたが、さわた図書館の2階3階の利用の件について、利用者がたらい回しにされることだけは避けていただきたいと思ひます。2階にある児童書を借りたいのを3階に行って受付をするようなことだけは避けてほしいので、利用者がスムーズに利用できることが、使用しやすいことが一番だと思ひますので、機関が違うことによってそれだけはもう一度お願いしたいと思ひます。
市橋課長	我々もそのへんについてはしっかりと考えていきたいと思ひます。
渡邊会長	整理します。1番のさわた図書館の基本構想について、意見・質問等ございましたらお願いします。今の計画ですと、何年度にオープンですか。
村岡館長	今年3月の議会で、議員の方からタイムテーブル的なご質問がございました。市長の回答の中で、タイムテーブルやリミットを決めずに、市民の意見を聞きながら進めるということですので、私達もそういった部分を受けて、教育長もそういったご意見でしたので、私共はタイムリミットなど決めずに動いていきたいと思ひております。
渡邊会長	他にございますか。1番だけでなく、全体的に。
村岡館長	今回新規の委員の皆様には、継続事業の説明がわかりにくいところがあると思ひますので、別途資料等ご説明させていただく中で、従来の経過などを踏まえてご説明や資料を配布させていただきたいと思ひます。いきなり継続で議論は難しいところがあると思ひますが。
土屋委員	5番、図書館の開館時間の延長ですが、さわた図書館と関連しないこともないですが、子どもたちの学力の向上は当市におきましても喫緊の課題です。実態をお話させていただくと、中学生は学校の授業を終えて部活を終えると下校時刻が18時前くらいになります。ぜひ試行的延伸と言わず、延長に

	<p>踏み切っていただきたいと思っております。県内の他の数市町村の閉館時刻を調べましたら、ほとんどが19時、20時が通常です。私が調べた中では、魚沼市だけ17時15分閉館でした。子どもたちの学力と相関があるかはわかりませんが、ぜひ子どもたちが平日でも学校から帰って図書館に行けるシステムを作っていただけたらと思います。今年度予定で2か月間試行すると書かれています、2か月が適切な期間なのかどうなのか、ぜひ積極的に伸ばせていただけたらと思います。</p>
渡邊会長	<p>ありがとうございました。その件について何かございませんか。今のところ、年間とは考えていなくて、令和5年度に関しては7月1日から8月31日までを試行期間として延伸するという計画ですね。</p>
村岡館長	<p>今の計画ではそうなっておりますし、9月に入ると、だんだん陽が早くなってくるので、子どもたちが帰る時刻が遅いと。例えば今の時刻でも天気が悪ければ子どもたちに少し図書館に残っていてよいと、親御さんが迎えに来たり。それが遅くなると職員としても心配ですし、土屋委員のおっしゃるような学力向上は重要な要素だと思いますが、私共が実際子どもを帰す時間になると、天気が悪かったりで親御さんが迎えに来ていないと、締め出すのも心苦しいところがあるし、暗いとそれはそれで心配だしという、職員としてはございます。</p>
遠藤委員	<p>延伸の件で、現状、例えば閉館時間まで子どもたちが勉強しているなど、その時間までの利用はありますか。ニーズということもあると思いますが、それはどのくらいかということと、確かに17時閉館だと、親御さんが迎えに来ようと思うと大体お仕事が17時だったり18時くらいにならないと上がってこれないと思うので、そう意味では延伸していただくとその時間まで勉強できると思います。学習室の生徒さんたちの利用は結構ありますか。</p>
伊藤係長	<p>まず平日の利用ですが、テスト前・テスト期間中については、閉館間際までいらっしゃるお子さん1～2名はいます。</p>
土屋委員	<p>あらかじめ定められている時間があるからこそその動きであって、それがニーズとして直接つながるかどうかは適切に判断していかなければいけないと思います。開館時間が17時までだから16時半に帰館するわけだと考えます。繰り返しになりますが、館長さんがおっしゃっていましたが、夏場冬場というと、柏崎市などは冬場19時、夏場が20時です。やはり他市町村と比較した時に、当市の開館時間は短いのではないかということはあると思います。ご検討いただけたらと思います。</p>
杉坂委員	<p>調査期間が7月1日～8月31日、そうすると先ほどのお話の中の子どもたちの学習、夏休み期間に入るので、調査が合わないというか、当然夏休み期間であれば早く帰ることもあるのではないかと考えると、他の期間も少し入れ</p>

	<p>たほうが、そういう面での調査ということであればそれがよいかと思います。</p> <p>あと、今中央図書館と両津図書館の延伸の調査の試行ということですが、他の図書室を含めての調査、あるいは実際に試行しなくてもアンケートなどはないのでしょうか。</p>
村岡館長	<p>杉坂委員の夏休み期間だと、土屋委員がおっしゃっているかたちでの実態の把握の部分ではあまり適切ではなく、他の期間のほうがよいのではないかというご意見に関しては、検討はしたいと思いますが、私共としては、やはり夏休み期間中ですとかなり勉強したい子どもたちが自由に時間をとれるという部分と、8月までであれば陽も長いので、帰る時間帯としてはそれほど心配はないと思っていますが、9月に入ると暗くなるのも早くなるので、県内の他館の周りの状況の把握はしきれていないですが、そういった中で安全に帰る時間帯を一つ私共は考えているところです。先生のご意見の部分で、前倒しは厳しいですが、学校がある他の期間に変更することは検討したいと思います。</p> <p>また、ご意見の中で市内の他館のアンケートの実施については、両津の時も全館・全室で行いましたし、今回についても全館・全室でアンケートを実施したいと考えていますが、前は来館された方へのアンケートでしたので、普段図書館を利用しない子供たちのご意見がとれていないところがあるので、今回タブレットを使ったニーズ調査、子ども学習だけでなく、図書館ニーズについても今のタブレットで子どもたちのニーズとしてどれだけあるのか調査したいと考えています。また、アンケートについては、できるだけ多くの方からご意見といただけるようなものを、タブレット・紙ベース含め、いろいろなところで考えていきたいと考えております。</p>
土屋委員	<p>この2か月の期間での調査というのは、調査法として適切なのか。例えば、この2か月で利用者が何人いたから開館時間を延伸することに決めるとか、そういった基準や指針がないと、闇雲に調査してもという不安がございます。そのあたりはどうなっていますか。</p>
村岡館長	<p>明確な指針は現状ありませんが、人数的な部分であれば実績の参考になると思いますし、昨年度両津でやった場合は来館された方へのアンケートですが、9時～17 時までの利用を望む現行維持の方がアンケートの結果一番多かった。ただ、昨年度実施した中では、開館時間を延ばしてほしいというご意見も踏まえ、今年度試行的にやりたいと考えていますし、アンケート等については昨年度よりも幅広くいろいろなツールを使って聞き取りをする中で、どういったかたちでの利用ニーズがあるかの把握もしたいと思います。一方で、実際の話としては職員の確保や財源的な話も出てきますので、ニーズに</p>

	<p>対してどれだけの費用がかかるか、実現に向けて職員の確保、費用、安全面、ニーズといった様々な課題のもとで開館時間の延伸等が決定されると思います。</p>
土屋委員	<p>ニーズに対して開館時間を延長するといった発想の逆転の発想として、公的機関である社会教育施設、サービスを与える側として、開館時間を延ばすサービスを拡大します、ぜひ使ってくださいという姿勢で市民サービスに努めてもらう発想にはならないですか。やはり予算などの問題になりますか。他市町村と乖離しすぎているのが気になります。</p>
村岡館長	<p>ニーズだけでなく、公的な施設としてどうあるかというのが必要だと思います。一方で予算は考えるべきことだと思いますので、検討したいと思います。</p>
渡邊会長	<p>言おうか迷っていましたが、土屋委員の学力向上の面でいきますと、中央図書館だけ開館時間を延長してよいのか。地域の差があるのはそれでよいのか。そういう方向までいくのではないかと思いました。佐渡市において平等というのは難しいと思いますが、時間の延伸というのは地域格差がありすぎてどうなのでしょう。図書館利用としては、ただどこか1館だけでも延伸しているのは有難いと思いますが。</p>
土屋委員	<p>全館でやっていただきたいです。</p>
村岡館長	<p>開館時間の延伸もですが、学習場所を考えた時に、10 個ありますが、整備されているのは中央と両津くらいになるかと思ひますし、延伸と学習がイコールと考えるならば、学習場所といったところも整備する必要があるかなと思ひます。</p>
渡邊会長	<p>私としては大きな問題かなと思ひます。ただ、図書館の延伸をしますというのであれば、中央、両津、今度できるさわたで試行期間を設けてもよいと思ひますが、学習場所ということでいくとそのへんの地域格差があつてはいけないと思ひますので、慎重にやらないといけないのかなと思ひます。</p>
本間委員	<p>私は3月まで赤泊にいました。おっしゃる通り、学校が終わり部活が終わり図書館で親を待っている人が何人かいました。小さい地区の学校なので人数的には1～2人ですが、格差的な話をするとああいう周辺の学校のほうがそういう問題が大きくて、親御さんが迎えに来るまでの間、もう少し待ってもらえるのであれば行き場ができる。なので、閉館時間を19時にすることで利用者は当然増えると思ひます。なので、ニーズを待つて調査をした結果、17時に決めますとなると何も変わりませんが、19時に伸ばしたことによって利用者が増える可能性は当然あると思ひます。そういった部分はどの地域でも同じように拡大していただきたいと思ひます。同時に、各図書館の利用者数を見ると、私畑野の人間なので、畑野の利用者がなぜこんなに少ないのか、恥ずかしいですが、各図書館で利用者数が少ないものにも課題があるのか、畑</p>

	野だったら金井に来ることも距離的には可能なので、身近なところよりもあちらのほうがよいといって畑野を利用しないものがあるとしたら、それも悲しい話です。全島あげて図書館の充実というか、そこに向けての〇〇を・・・
遠藤委員	何年か前にかんりの図書館で延伸の取り組みをした年がありました。中央以外も 18 時くらいまで開ける取り組みをして調査をしていただいていたのに、現状の 17 時に戻っているのではないかと思います。記憶が定かではありませんが。
渡邊会長	真野は 18 時までとあったと思います。あとはないと思います。
土屋委員	やはり 18 時でもなく、19 時・20 時なんです。現状ですと、一日仕事を終えて帰りに図書館に寄って帰ろうなんて思いません。大々的に宣伝していただき、佐渡市の図書館が 20 時まで夏場は開くんだとわかれば、仕事帰りに寄って調べ物をして帰ろうかなという方も出てくると思います。ニーズがあるから伸ばす、ないから閉めるではなく、社会教育を提供している側としては、やはり意図的、計画的に整えていかなくてはいけないのではないのでしょうか。19 時 20 時までできませんか。
市橋課長	今回受けさせていただくということで、ここで何時までという回答はすぐできるものではないので、それと我々は市民のニーズに対して行政が動くという考え方もあるので、調査をしてどうするかと考えるために調査したいと考えています。ただ、先生方が言われたとことの意味につきましてはごもつものところがありますので、そこはしっかり聞かせていただきたいと思います。
渡邊会長	図書館協議会委員としての意見ということで、前向きに検討していただきたいと思います。 他になんでも結構です、何かありましたらお願いします。
遠藤委員	2番の子どもたちの声を聞くという・・・ぜひやっていただきたいくて、たぶん子どものほうが大人よりも柔軟な発想や思いもよらないアイデアや希望が出てくると思うので、ぜひ佐渡の子どもたちに聞いていただきたいです。学校司書さんが一番子どもと接していると思います。私も司書さんの話を聞くと、夏休みに3冊長期貸し出しできますが、簡単な迷路や間違い探しの本を3冊借りて終わってしまう子が散見されると。なので、1冊は物語などの文字の長い本を借りる決まりにしようかなとおっしゃっていました。なので、学校司書さんのお話を聞いていただいて方向性を決めていただくとよいかと思います。
池田委員	開館のことですが、学習室のみということですか、それとも図書館全体をオープンということですか。
渡邊会長	試行期間としては中央図書館のということですね。学習室のというより。
村岡館長	例えば、前回土屋委員から、伸ばす中で学習室だけでも開けられないかといったご意見があったと思いますが、我々の開館時間の延伸というのは、学

	習場所だけでなく全館開くというものを計画しています。実際に学習室だけ確保して開けるとするのが難しいところがございますので、開けるなら全部になります。
池田委員	場所によっては、図書館は19時、学習室は 22 時までという場所もありますので、例えば新しくできるさわたは学習場所の提供はしますという切り替えもあってもよいのかなと思いました。 それと、ICT 化とありますが、時流がそうですが、職員はついていけますか。
伊藤係長	ICT 化ですが、職員がついていけるかなどいろいろご心配をおかけして申し訳ございません。職員は頑張るのみでございます。時流として電子図書館の取り組みは全国的に進んでおりますし、先ほど館長の村岡からも7番の電子図書館、新潟県立図書館が今年の7月から取り組みが始まりますし、また令和6年度の実施に向けて、新潟県全体で電子図書館の実施も含まれています。小学校もギガのタブレット、1人1台ということで配置されていると思いますので、県内の学校によってはギガのタブレットを使って朝読書をするような取り組みをしているところもあるとカインズしておりますので、ICT 化は世の中の流れで取り組まなければいけないと認識しています。職員も日々勉強していきたいと思っています。またお気づきのことがございましたら、皆様の知見をお借りして教えていただければと思いますのでよろしく願いいたします。
渡邊会長	私も電子図書館というものがどうもわかりませんが、県立図書館が7月に導入予定となっておりますが、これは自分のパソコン上に貸してくれるのですか。
村岡館長	WEB上で、自分のパソコンからアクセスして、自分の ID やパスで、新潟は閲覧ですが、閲覧や貸し出しが付与されます。まず県立の ID を取得する必要がありますかと思えます。
渡邊会長	自分のパソコン上で見られるということ。15分で見るというのは？
村岡館長	15分というのは、新潟県立図書館が考えているものは、15分間自分のパソコンで借りている本をほっておくと自動的に切れると聞いています。貸し出しというより閲覧です。実際に紙の本ですと人が取って見て返すと次の人が借りる感じです。
渡邊会長	ちょこちょこ触っていれば、1時間でも借りられるということですね。何日もかけて読みたい時は、2週間とか期限はありますか。
伊藤係長	貸し出しという感じではなく、閲覧なので、1人が貸出期間2週間なりを独占できるイメージではなく、そこのページにあるものについて1人の人はアクセスできる、1人の人が見られる。私が見ている間は、他の人はそのページにアクセスすることができない、見られないというタイプのものと聞いています。
本間委員	電子化というのは、図書館に行かないと閲覧できないものですか。

伊藤係長	図書館に行かなくても、それぞれのパソコンやスマートフォンからアクセスできます。
本間委員	<p>電子化にすることによって図書館に行く人は減ると思います。生の本を読む読書の魅力があると思いますので、できたら佐渡の図書館はこういうふうにも本をアピールしてサービスを提供します、もっと図書館に来てくださいというのを前面的に工夫していただきたいと思います。当然電子化も必要だと思いますが、わざわざ図書館に行きたい、佐渡の図書館面白いという部分をアピールするには、今までとは違う図書館を構想していく必要があるのでは、そういった工夫も皆さんで考えられないかと。なぜ佐渡の図書館はカフェがないのか、そういったものがあれば気楽に。佐和田の蔦屋もタリーズがあるから行くようなところがあるので、抜本的な改革や発想の転換をしていかないと、ますます図書館に行く人は少なくなって本を読まない、本の面白さに触れない人が増えていくと思います。</p>
渡邊会長	たしかに、本間委員さんのおっしゃることはすごくわかります。
関根副会長	<p>今のお話、すごく共感するところがありますし、令和4年度の図書館事業の最初の評価のところですが、『図書館いかんかき！』などの行事をしていただき、図書館に来ていただく工夫をされていることはわかりますが、それに対して、課題と対策の中に広報の不足で周知が足りなかったという文面がありますが、今年は広報をしっかり行い図書館利用を促したい、どういった広報の仕方をするかとか、何か計画はありますか。</p> <p>あと、パソコンの利用の仕方なども考えられてくるので、パソコン利用のわかりやすい説明や広報をしていただくとよりよいと思います。広報の仕方がこれから重要になってくると思いますので、いかがでしょうか。</p>
伊藤係長	<p>広報の仕方ですが、昨年度から少しずつSNS、LINE・facebook・Twitter等を使って行事の広報は行ってはいました。ホームページについても月1回の展示や活動内容について周知は行っていったところです。なので、真新しいところでは思いつかないところではありますが、SNSを使って情報を得るところがあるようなので、SNSやホームページをしっかり使いながら情報発信に努めたいと考えています。また、図書館協議会の皆様にも広報でこんな方法があるなどあれば、ご意見等お聞かせいただければと思います。</p> <p>パソコンの利用方法ということですが、図書館のホームページがございまして、ホームページの活用方法という意味合いでのご質問でしたでしょうか。ホームページの活用方法につきましても、使うと非常に便利です。利用の確認ができたり、予約ができたり、便利なものではあります。確かに利用方法についての説明がわかりにくいと思います。一昨年、利用案内というものを作りまして、窓口で配布させていただいておりますが、皆様もご存じない様子</p>

	<p>ですので、やはり周知が足りないのかと思います。こちらホームページや窓口において周知に努めたいと思います。</p>
坂口委員	<p>先ほどと重なりますが、電子化も ICT も分かる人はよいですが、みんなが使えるように、さわた図書館は高齢の人も足を運んでいますし、逆に若い子はタリーズで勉強している子が夜遅い時間でもいるので、それは佐和田だからできることなので、基本の図書館に足を運んでもらうとか、紙に手を触れて読むのは電子と違う醍醐味があると思うので、図書館に行きたくなるような工夫をしていただきたいのと、SNS で紹介するのも読んでわかる人とわからない人がいるので、誰もがわかりやすい内容で努力してほしいと思いました。佐渡市民のためというか、みんなが使いやすいように、ここへ集まる人たちは図書館に行くのは平気かもしれませんが、私の同世代は行きにくいという声もちらほら聞きますので。行きやすく、わからないことを聞きやすいような雰囲気づくりや工夫をしてほしいと思います。</p>
渡邊会長	<p>時間もだいぶ迫ってきましたが、次のその他に行ってもよろしいでしょうか。その他について、事務局からお願いします。</p>
村岡館長	<p>特にございません。</p>
渡邊会長	<p>よろしいですか。では、協議はこれでよろしいでしょうか。ではお返しいたします。</p>
村岡館長	<p>本日はお忙しい中お集まりいただき、ご意見をいただきました。これを持ちまして今年度の事業、ご意見を伺いながら進めていきたいと考えております。最後に副会長から閉会のご挨拶をいただければと思います。</p>
関根副会長	<p>3 閉会  挨拶</p>